



ウエブ要請行動で、このままでは医療を提供できないと訴え

24年度改定に向け厚労省交渉 院内感染対策と人材確保が必須 診療報酬本体の大幅引き上げを

省は「恒常的な感染症対応への見直しを行うこととしており、中医師協で議論する」と回答した。フリーアクセス制限につながる「かかりつけ医」の制度化を診療報酬で行わないことを求めたことに関して、厚労省は「外来機能の分化・連携を進めるにあたり、診療報酬による取組みを行ってきた。医療法に関する

最初に要請署名に挙げた24項目について厚労省からの回答を得た。24年度改定ではネットプラスとなるよう、診療報酬本体の大幅引き上げを求めたことに対して、厚労省は「骨太の方針」に基づき、昨今の物価高騰、賃金上昇、医療機関の経営状況を踏まえつつ、患者の保険料負担や利用者負担への影響も総合的に勘案しながら、必要な対応を行っていき」と回答した。院内感染防止対策などへの対応として、初・再診療の大幅引き上げを求めたことに対しては、厚労省は「恒常的な感染症対応への見直しを行うこととしており、中医師協で議論する」と回答した。

また、在宅時医学総合管理料の単一建物居住者の取扱い(同一月の対象患者が増える点数が通減される)について、「個々の患者に対してオーダーメイドの

協会は7月18日、厚生労働省に「24年度診療報酬改定に関する要望書」を提出し改善要請をウエブで実施した。協会から福山副理事長、吉河・種田・植田・坂本理事、顧問が参加。厚生労働省保険局医療課の加古敦也主査、竹内海斗主査が対応した。要請は参院厚労委員の倉林明子議員に仲介いただいた。要請にあたり、6月中旬に会員から集約した24年度診療報酬改定に関する要請署名176筆を事前に保険局医療課宛に送付した。

と述べるものの、医療事務担当者の役割については言及しなかった。その他、協会が地区医師会や専門医会と行った懇談会で要望が出された「個別技術の見直しや新規技術評価の新設」について、厚労省は医療技術評価分科会での学会からの直接ヒアリングを受けて具体的に検討を行うと回答した。

また、有床診療所在宅患者支援病床初期加算の施設基準について、高齢多死社会の進展を念頭に置いた「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」による指針策定は産婦人科の有床診療所では全く馴染まないこと、医療機関において薬価差がほとんどない現状において、内服薬7剤以上を処方した場合の処方料・処方箋料・薬剤料の通減は全く不合理であること、院内投薬を行う医療機関における一包化の評価の新設などを強く訴えた。

協会の要請を受けて厚労省は「重く受け止めた」としたものの、「現場の実態は大きな意見だが、全国的なものかどうか。保険者や国民に対する説明責任もあるため、データが必要」と応じた。協会は「これらの切実な訴えに地域性は無い。全国の保険医療機関が

全く同じ悩みを持っている」と理解を促した。集約した会員署名は、7月28日の保団連の厚労省交渉に合せて、京都選出国会議員に手渡した。中医師協委員へは8月9日郵送して改善を要請した。次回改定で改善が得られるよう、運動を続けたい。

空を仰ぐと解熱剤を差し込みたいほどのお日様だ。病院の玄関の体温センサーもあてにならない。夜診の出動時はサウナ並みの暑さ。冷房と酷暑の出入りで疲労だけが蓄積する。診療終了後、ボーっとして事務作業もはかどらない▼総務省が23年1月1日時点の人口を発表した。日本の人口がさらに減少した。今回は全都道府県で。コロナで東京を離れた人も東京に戻り、東京の減少率は一番少ない。東京一極集中は止まらない。国民は皆東京へ行きたがっているのだ▼「そうだ東京へ行くう」。東京に住むための地域手当を全国民に支給してもらおう。東京一極集中はさらに進み、日本経済は活性化する。東京の生活費は上昇するが支給額を上げればよい。東京に行かなくても支給され、東京との収入格差の解消になる。地元に残れば、その地が潤う。東京への旅費を全額支給してもらおう。行楽目的でもよい、通院のためでもよい▼国は都道府県単位で医療を運営させるために、都道府県での国民健康保険料の統一化を目指すとしているが、医療過疎地には不公平だ。地域別に診療報酬を設定する法律はでき、都道府県で提供される医療に差ができる。大都市東京でない希望する医療を受けられなくなる。「そうだ東京に住もう」。▼気が付いたら、電子カルテに同じ文字が並んでいた。(恭仁)

2024年度診療報酬改定(介護報酬、障害福祉サービス等報酬も含めて)のトリプル改定年度にあたる。議論が開始されている中、協会は恒例の三士会(PT、OT、ST)との懇談会を7月22日に開催した。当該議論の内容はあらためて本紙などで広報するが、その中で、ある士会の代表者から養成機関としての学生の募集状況が芳しくない旨の発言が

あった。当然ながら国家資格であり、有資格者の前途は有望であるべきだが、必ずしもそうでない現状の現れではとの分析である。

それに連動して他の出席者からは、スポーツマンの百も承知での議論であるが、高齢化が一層進む我が国において、健康と疾病予防を担う人材という観点から、養成課程への希望者が以前より減少していることがあった。

三士との懇談会に話を戻すと、診療・介護報酬算定

の制約・制限のため、本来の活躍の場と機会が充分でないとの切実な訴えは前述の問題と一部共通する内容と考えられた。先日明らかになった「骨太の方針」は、残念ながら診療報酬などの引き上げ要求を強くけん制したものとなった。

明るい希望を持って健康づくりに貢献しようという大志を抱く若者たちの心を決して踏みしめることのない世の中になるのは少々遠そうである。

医療計画を立てており、人数による通減は不合理だ」「点数表は療養の給付」「点検料の取扱い(一度算定すると、どれだけ受診期間が開いても再診となる)は過去一部不当な請求を行う医療機関があり、ペナル

は、国が低い医療水準で良いと規定している議論となり、重大な齟齬を生じかねない。見直すべきだ」と改善を要請した。

さらに、コンタクトレンズ検査料の取扱い(一度算定すると、どれだけ受診期間が開いても再診となる)は過去一部不当な請求を行う医療機関があり、ペナル

省は「重く受け止めた」としたものの、「現場の実態は大きな意見だが、全国的なものかどうか。保険者や国民に対する説明責任もあるため、データが必要」と応じた。協会は「これらの切実な訴えに地域性は無い。全国の保険医療機関が

全く同じ悩みを持っている」と理解を促した。集約した会員署名は、7月28日の保団連の厚労省交渉に合せて、京都選出国会議員に手渡した。中医師協委員へは8月9日郵送して改善を要請した。次回改定で改善が得られるよう、運動を続けたい。

空を仰ぐと解熱剤を差し込みたいほどのお日様だ。病院の玄関の体温センサーもあてにならない。夜診の出動時はサウナ並みの暑さ。冷房と酷暑の出入りで疲労だけが蓄積する。診療終了後、ボーっとして事務作業もはかどらない▼総務省が23年1月1日時点の人口を発表した。日本の人口がさらに減少した。今回は全都道府県で。コロナで東京を離れた人も東京に戻り、東京の減少率は一番少ない。東京一極集中は止まらない。国民は皆東京へ行きたがっているのだ▼「そうだ東京へ行くう」。東京に住むための地域手当を全国民に支給してもらおう。東京一極集中はさらに進み、日本経済は活性化する。東京の生活費は上昇するが支給額を上げればよい。東京に行かなくても支給され、東京との収入格差の解消になる。地元に残れば、その地が潤う。東京への旅費を全額支給してもらおう。行楽目的でもよい、通院のためでもよい▼国は都道府県単位で医療を運営させるために、都道府県での国民健康保険料の統一化を目指すとしているが、医療過疎地には不公平だ。地域別に診療報酬を設定する法律はでき、都道府県で提供される医療に差ができる。大都市東京でない希望する医療を受けられなくなる。「そうだ東京に住もう」。▼気が付いたら、電子カルテに同じ文字が並んでいた。(恭仁)



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる
発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターネットサービス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 花山 弘

主な内容
オン・資確認の現状でアンケート (2面)
なぜ医療界で接遇が必要か (2面)
物価高騰で支援実施は4市町 (3面)

ご用命は
アミスまで
●医師賠償責任保険
●休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
●針刺し事故等補償プラン
●自動車保険・火災保険
TEL 075-212-0303

代議員・予備代議員 補選の公示
左京
左京医師会選出の代議員・予備代議員に欠員が生じました。それにもない京都府保険医協会選挙規定第32条1項により、代議員・予備代議員の補欠選挙の公示を次の通り行います。
▽公示日 2023年8月10日(木)
▽締切日 8月18日(金) 16時
▽定員 代議員3人、予備代議員3人
▽任期 25年4月30日まで
▽立候補届出方法は「立候補届出書」に必要事項を記入・押印のうえ、締切期日までに当該医師会または協会事務局へ、京都府保険医協会代議員会議長までご提出下さい。

空を仰ぐと解熱剤を差し込みたいほどのお日様だ。病院の玄関の体温センサーもあてにならない。夜診の出動時はサウナ並みの暑さ。冷房と酷暑の出入りで疲労だけが蓄積する。診療終了後、ボーっとして事務作業もはかどらない▼総務省が23年1月1日時点の人口を発表した。日本の人口がさらに減少した。今回は全都道府県で。コロナで東京を離れた人も東京に戻り、東京の減少率は一番少ない。東京一極集中は止まらない。国民は皆東京へ行きたがっているのだ▼「そうだ東京へ行くう」。東京に住むための地域手当を全国民に支給してもらおう。東京一極集中はさらに進み、日本経済は活性化する。東京の生活費は上昇するが支給額を上げればよい。東京に行かなくても支給され、東京との収入格差の解消になる。地元に残れば、その地が潤う。東京への旅費を全額支給してもらおう。行楽目的でもよい、通院のためでもよい▼国は都道府県単位で医療を運営させるために、都道府県での国民健康保険料の統一化を目指すとしているが、医療過疎地には不公平だ。地域別に診療報酬を設定する法律はでき、都道府県で提供される医療に差ができる。大都市東京でない希望する医療を受けられなくなる。「そうだ東京に住もう」。▼気が付いたら、電子カルテに同じ文字が並んでいた。(恭仁)

保険診療



8月1日以降の配薬と服薬指導

Q、処方箋の備考欄に「0410対応」と記載することにより、患者に配薬を依頼する方法は、23年8月1日以降廃止されたことと聞いた。在宅で療養する寝たきり患者や、免疫力の低下した患者であつて独居のものなど、調剤薬局へ薬を取りに行くことができない患者について、配薬の依頼はできなくなったのか。

A、「0410対応」とは、20年4月10日付厚労省医政局医事課事務連絡に基づき、薬局から電話や情報通信機器を用いて服薬指導を依頼する場合の処方箋へ指示方法を示します。23年8月1日以降、薬局では電話による服薬指導をするこ

とはできなくなり、情報通信機器を用いて服薬指導する必要があることを記載すれば、配薬は実施されるはずですが、また、その患者について介護保険の居宅療養管理指導費（医師の場合）を算定していなければ、診療情報提供書を用いて薬局に依頼した場合は、診療情報提供料（I）が算定できます。

金融共済委員会

(7/19)の開催状況

各地区から選出の委員により、共済制度の健全・安定運営を行っています。

①補償運営分科会

給付審査8件、加入審査2件を審査し可決しました。②融資諮問分科会1件の案件を審査し可決しました。

23年9月

理事会の開催予定

(8月は休会)

第7回理事会

9月12日(火) 14時

第8回理事会

9月26日(火) 14時

必要ですか？

医院のインボイス導入

発行の必要性ほとんどない

インボイス制度において、医療機関はどのような対応が求められるのか。

インボイスはサービスの売り手が消費税の適用税率や税額などを伝えるもので、買い手（事業者）が申告で「仕入れ税額控除」を使う際に必要になる。医療

機関が売り手となった場合、取引相手（買い手）の中心は個人の患者のため、インボイスの発行を求められることはない。それでは医療機関がインボイスを求められるのはどのような場合か。例えば企業健診・産業医契約・治験

●●● 保団連近畿ブロック ●●●

税務調査アンケートにご協力下さい
締切は 8月31日(木)

全国保険医団体連合会・近畿ブロックの保険医協会は、会員各位からの税務相談や講習会、大阪国税局との懇談などに役立てることを目的に、医療機関に対する税務調査の実情をお聞きしています。

開業医会員の5割を任意抽出してアンケート用紙を7月26日付で送付しました。同封の返信用封筒にて8月31日（木）までにご返送下さい。ぜひご協力をお願いします。

医療機関経営情報

2023年7月25日現在

独自支援策実施は4市町
府内自治体にアンケート調査

協会は、収まらない物価高騰に対し、京都府をはじめ府内市町村に医療機関への支援策の実施予定を尋ねるアンケートを実施しました。医療機関への支援策を「検討中あるいは実施予定」は表の通りです。与謝野町と京都市は医療機関を含む事業者向け支援となります。

京都府は、6月補正予算にて「医療機関・社会福祉施設等経営改善支援事業費」に7億円を計上。利用者への価格転嫁が困難な医療機関・社会福祉施設などの経営改善を支援するとしていますが、実施要領などの詳細はまだ公表されていません。判明次第、本紙にて案内予定です。

市町名	支援策	実施予定時期	担当課
与謝野町	事業所向け支援策の中で医療機関も対応予定	未定	産業観光課
舞鶴市	1施設10万円、入院施設20万円	23年8月頃	地域医療課
京都市	京都市中小企業等物価高騰対策支援金(追加支援)法人3万円、個人事業者2万円	～8月10日まで	「京都市中小企業等物価高騰対策支援金」事務局 TEL 050-3668-5496 (平日9時～17時)
精華町	精華町医療機関、社会福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策交付金50床以上の医療機関：50万円交付、それ以外の医療機関(歯科・薬局含む)：10万円交付予定	23年度中	健康推進課
笠置町	検討中	未定	保健福祉課

鈍考急考

43

言葉は、けっこうなスピードで変化する。流行語もあれば死語もある。地域や年齢による違いも、感性の個人差もある。これが正しい、これは間違いと簡単には言えない。とはいうものの、イラストと

は、いくつもある。一番手は「させていただきます」。おそらく10年ぐら前から急速に、あちこちで耳にするようになった。これは謙譲語の一種。えら

そうにならないよう、相手の許可や指示に感謝するかのよう

に表現する。使う人が増えたのは、主體的決定を避けた

「始めます」で済むのに、3秒ほど余分にかかる。そんなのを積み重ねると、1時間の会合でも数分が失われる。「カンパできない」と語る人も増えた。看過という熟語はあるが、「見過ごせない」のほづがわかりやすい。「躊躇する」より「ためらう」のほうがやさしいのと同じで、意味は全く変わらない。

原 昌平 (ジャーナリスト)

イラストとくる日本語

「人口に膾炙する」を使う人もいる。スツと意味がわかる人は多くないし、漢字はよく書かんでしょう。

漢字や熟語の多いほうが立派という勘違いがあるのかも

しない。行政関係者や学者の書く文章にしばしばみられる傾向で、一般市民にもそう思い込んでいる人は多い。

文芸はともかく、社会生活で肝心なのは、相手にしっかりと伝わるかどうか。

そのためには日本語の特性も認識しておきたい。発音は簡単、文字の種類と読み方が非常に多い、同音異義語が多い、オノマトペが豊富……。

自然の言語に良し悪しや優劣はないけれど、日本語の弱

点と感ずる点はある。敬語があるのは重要な特徴だが、尊敬語の「れる・られる」が受動態と同じ形なのは、混同を招きやすい。

「なければならぬ」といった義務形の言い回しが長すぎる(方言に短くて良いのはないだろうか?)。

述語が最後にくるので、結論がなかなかわからない。文脈から推定できる主語や目的語を省くのも日本語の特性で、文をスリムにできる。

だが、特に使役形や受動態が交じると、誰が誰にという関係の把握に一瞬、頭を使う。たいていは意識にのぼらない瞬間的な脳内プロセスだが、文章を読むとき、推定や分

は、率直でシンプルな表現なので、今後も率直に書かせていただきます。ん？

析のプロセスが多いと、脳がくたびれる。長くて複雑な構造の文は当然、わかりにくい。高校教育への「論理国語」の導入をめぐる議論があつた。問題は、実用文を読解・作成する教育訓練が足りないことで、文学を否定する意図はないと思うが……。

もう一つ、大きな課題は国際化。日本語はマイナーな言語ではない。日本に暮らす外国人と日本語で意思疎通する機会も多くなった。「やさしい日本語」の手引きを文化庁や自治体が出している。

そういう場面で有用なのは、率直でシンプルな表現なので、今後も率直に書かせていただきます。ん？



乗鉄ドクの
趣味悠遊
vol.3
村上 匡孝 (綴喜)



写真1



写真2

1号車は「茜の章」、伊予灘の夕焼けをイメージする茜色に彩られた(写真1)和テイストの車内。2号車は「黄金の章」、愛媛の柑橘類と太陽をイメージする黄金色に彩られた(写真2)、モダンスタイルな車内。砥部焼の洗面鉢などメイドイン四国のグッズが内装に用いられ、落ち着きと贅沢なゆとり感が満載です。

爽やかな朝、列車は8時半に松山駅を出て、地元の食材をふんだんに使った「旬彩モーニング」を食べながら、伊予灘(旧・予讃線)の海岸美を楽しみます。海側の窓に向いて横一列に並ぶカウン

ター席に着くと、テーブルにはアテンダント美女手製のイラスト車窓ガイド。車窓や観光を案内する美声に包まれ、和みながらゆくりと列車は進みます。トンネルでショートカットする新線ができた今は、かつて特急しおかぜも走った旧予讃線が伊予灘ものがたりの絶景車窓で有名にな

りました。

飲み物には、みかんの種類が異なるみかんジュース、伊予灘サンセットティー、伊予灘view tea、数種類のオリジナルカクテル、地ビールがドリンクリストに並んでいます。伊予の「地酒飲み比べセット」が素晴らしい。大辛口(道後)、雪雀(北条)、山丹正宗(今治)、宮の舞(伊方)、梅錦(川之江)、初雪盃(砥部)。辛口から甘口までの美味酒六種盛です。

舌が踊り脳が弾み始めたちよつと頃合いに、ホームが海に最も近いJR駅の下灘駅に到着します。ドラマ、ポスター、映画でよく登場する(瀬戸内)海の絶景駅で、乗客全員が降りてホームで歓待されます。ボランティアのおじさんのお話を聞き、名物をおばさんと会話を交わし、写真を撮ったり、海を眺めたり、ゆくりしているように妙に忙しい。

沿線から地域の多くの人々が(私)ではなく伊予灘ものがたりに、手を振って下さるのも感動もの。応えているうちに瀬戸内海から肱川に、海から川へと景色は移り、伊予大洲に到着。レンタサイクルで城下町を散策しましたが、旧家をリノベートしたカフェで食べたかき氷の味が忘れられません。

今回の推し地酒。
吹毛剣(酒六酒造、内子町)。
(伊予灘ものがたり
初代のキロ47系
2020年8月乗)

事務局休務のお知らせ
8月15日(火)・16日(水)の両日は、事務局休務とさせていただきます。ご了承下さい。

主 催 一般社団法人京都府介護老人保健施設協会
(事務局) 075・813・1545、ファクス075・813・1546、メール kyoroken@world.ocn.ne.jp

申込 フォームは
こちらから

申込 左記の申込
フォームに必要事項を入力
してお申込み下さい。申込
期限は8月18日(金)
※登録後の修正・変更は
事務局まで

**第29回京都府
老人保健施設大会**

掲示板

参加費振込期日9月29日(金)

陶芸教室

粘土の塊を手でのばして作る「手びねり」で、オリジナルの中鉢、茶碗、湯呑み、お皿などを作ってみませんか。ご家族、スタッフのご参加も歓迎します。

日 時 10月15日(日) 10時30分～12時30分
場 所 エクシブ京都 八瀬離宮「陶芸 和楽」
(左京区八瀬野瀬町74-1 TEL 075-707-2888)
※叡山電車「八瀬比叡山口駅」下車すぐ。
※送迎バス10時発(地下鉄「国際会館駅」3番出口より東へ30m、南側に停車)。
※自家用車の場合、駐車場あり。

定 員 12人 ※先着順。要申込。定員に達し次第締切。
参加費 2,200円(当日、受付で徴収)
※作品は後日発送(宅配便にて着払い)。

お申込はこちら

伊予灘ものがたり いよいよ魅せる四国の観光列車 (JR四国)

鉄道マニア憧れの「伊予灘ものがたり」はJR四国の看板観光列車。初代の伊予灘ものがたりは改装したキロ47系気動車(先頭車)を前後背中合わせに二面連結した珍しい列車で、コンセプトは「大切な人と過ごす時間と空間」。

この「予約が取れない」列車に、松山から伊予の小京都、大洲まで乗りました。

1号車は「茜の章」、伊予灘の夕焼けをイメージする茜色に彩られた(写真1)和テイストの車内。2号車は「黄金の章」、愛媛の柑橘類と太陽をイメージする黄金色に彩られた(写真2)、モダンスタイルな車内。砥部焼の洗面鉢などメイドイン四国のグッズが内装に用いられ、落ち着きと贅沢なゆとり感が満載です。

爽やかな朝、列車は8時半に松山駅を出て、地元の食材をふんだんに使った「旬彩モーニング」を食べながら、伊予灘(旧・予讃線)の海岸美を楽しみます。海側の窓に向いて横一列に並ぶカウン

ター席に着くと、テーブルにはアテンダント美女手製のイラスト車窓ガイド。車窓や観光を案内する美声に包まれ、和みながらゆくりと列車は進みます。トンネルでショートカットする新線ができた今は、かつて特急しおかぜも走った旧予讃線が伊予灘ものがたりの絶景車窓で有名にな

りました。

飲み物には、みかんの種類が異なるみかんジュース、伊予灘サンセットティー、伊予灘view tea、数種類のオリジナルカクテル、地ビールがドリンクリストに並んでいます。伊予の「地酒飲み比べセット」が素晴らしい。大辛口(道後)、雪雀(北条)、山丹正宗(今治)、宮の舞(伊方)、梅錦(川之江)、初雪盃(砥部)。辛口から甘口までの美味酒六種盛です。

舌が踊り脳が弾み始めたちよつと頃合いに、ホームが海に最も近いJR駅の下灘駅に到着します。ドラマ、ポスター、映画でよく登場する(瀬戸内)海の絶景駅で、乗客全員が降りてホームで歓待されます。ボランティアのおじさんのお話を聞き、名物をおばさんと会話を交わし、写真を撮ったり、海を眺めたり、ゆくりしているように妙に忙しい。

沿線から地域の多くの人々が(私)ではなく伊予灘ものがたりに、手を振って下さるのも感動もの。応えているうちに瀬戸内海から肱川に、海から川へと景色は移り、伊予大洲に到着。レンタサイクルで城下町を散策しましたが、旧家をリノベートしたカフェで食べたかき氷の味が忘れられません。

今回の推し地酒。
吹毛剣(酒六酒造、内子町)。
(伊予灘ものがたり
初代のキロ47系
2020年8月乗)

食の安全問題講演会

健康食品のチェックポイントを知ろう！

～ 安全な利用のために ～

「健康によい」というものの、中には科学的根拠が明らかでないものもあるサプリメントや健康食品。その摂取による健康被害の例も見られます。正しい摂り方や注意点などを学べる講演会です。

日 時 8月26日(土) 14時～16時
場 所 京都府保険医協会・ルームA～C (ウェブ併用)
※会場参加は20人限定
講 師 脇 昌子氏 (内閣府食品安全委員会委員)
●国立循環器病センター(現 国立研究開発法人国立循環器病研究センター) 医長
●静岡市立静岡病院内分泌・代謝内科主任科長
●京都大学医学部臨床教授
●糖尿病、高血圧、脂質異常症や肥満などの代謝疾患、内分泌疾患と臨床栄養学が専門

参加費 無料(要申込)
ウェブ参加者には後日、Zoom案内をメールでお届けします。

お申込はこちら

教育DXは 何をもちたらすか

「個別最適化」社会のゆくえ

日 時 9月10日(日) 13時30分～17時
会場 東洋大学白山キャンパス6208・6209教室 (東京都文京区白山5-28-20) (ウェブ併用)
参加費 無料
内容 教育DX化は教育、そして社会に何をもちたらすのか。その能力主義的な問題を指摘した本書を、教育学・法学研究者、教育現場を担う皆さんと読み解き、オルタナティブな社会をめざす人々にとっての課題を考えます。

【書評】 児美川 孝一郎氏(法政大学教授)
森口 千弘氏(熊本学園大学准教授)
渡邊 のぞみ氏(元小学校ICT支援員)
石垣 雅也氏(滋賀県立公立小学校教員)

【応答】 谷口 聡氏(中央学院大学准教授)
中西 新太郎氏(横浜市立大学名誉教授)

【フロアを含めた討論】

主催 福祉国家構想研究会
※オンライン参加の方には前日にメールにてURLを送付します。
※対面参加ご希望の方も資料準備の関係上、また入構許可証発行のため必ず事前にお申し込み下さい。

お問い合わせ 福祉国家構想研究会担当：蓑輪・梶原
minoaki2020@gmail.com

「教育DXは何をもたらすか — 「個別最適化」のゆくえ」
中西新太郎、谷口聡、世取山洋介 著
株式会社大月書店発行
2023年3月17日
2,200円(税込)

下記QRコードより、お申込み下さい。
締切は
9月8日(金)

お申込はこちら